

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ユニオンクラブ		公表日		令和 8 年 3 月 10 日	
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	3		・事業所内は静（宿題や手作業）と動（エアーマット、ボルダリング等の住み分けをしている。月～金の16時以降はサンアリーナで思い切り体が動かせるスペースの下、運動療育を行っている。	・異年齢が同じスペースで活動するので、定員のみならず動きの大小も考慮し、安全でそれぞれが楽しめる療育プログラムを考えていく。	
	② 職員の配置数は適切であるか。	4	2	3	・児童発達管理責任者、児童指導員、保育士がそれぞれの役割を果たせるよう配置基準を守っているが崩れた子のサポートにつかなくてはならない場合、その他大勢の子が手薄にならないよう職員同士の声掛けや連携を強化する。	・サンアリーナへの移動時や、活動終了～送迎車までが慌ただしいので今以上に役割分担を徹底していく。	
	③ 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	3	・事業所内は段差なし。玄関上がり口に2段の階段、手洗いトイレ近辺に手すり設置済み	—	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	4		・朝礼、支援会議において実施	・非常勤職員には共有を徹底する	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート超せを実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか。	9			・実施している。お便りを添付しご回答をいただいている。	・いただいたご意見を参考に見直し、改善を図る。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			・ホームページに公開している。	・ホームページのリニューアルや更新に努め、どなたでも見やすいようにしていく。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	1	・今年度、埼玉県による監査が実施され改善目標が明確になった。	・監査にて指導があったところについて、早急に改善に繋げる。	
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		1	・ガイドラインに基づくマニュアルを定め、それに添って月に1～2回研修を行っている。その他、県からの研修案内を掲示し自己研鑽のための輪旋に努めている	・休日に研修に行ける制度を構築すること		
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		・保護者様から現状とニーズをお伺いし、自発管を筆頭に職員間で分析し、作成している	—	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	1	・標準化されたアセスメントツールは使用していないが、ニーズや課題に応じて、医療機関や発達支援センター、児童相談所などと適応行動の状況を共有し連家にを図っている	・各家庭で検査を行っているようなら、その結果を共有させていただくようにする	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3		・行っている。特性の違いや異年齢が同じ空間を楽しく活動できるよう時間で区切って難易度を変えたり、集中力の範囲をチームで考え立案している。	・非常勤職員からも経験によるアイデアを豊富に募る。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			・マンネリ化を防ぐため、フレッシュなアイデアを職員間で出し合っている。	・非常勤職員からも経験によるアイデアを豊富に募る。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援しているか	6	3		・休日や長期休暇は長時間になるため、公園や遠足など様々な体験が出来るようプランを立て支援に当たっている	・遠足やイベントの実施曜日に偏りがないように配慮する。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		・作成している	・始めは集団で難しかった活動にも徐々に参加出来るようになっていく経過を記録し計画立案に活かしていく。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			・朝礼時にその日の内容を確認し合い、支援リーダーを決め行っている。	・全体を進めるリーダーの補佐についても、しっかり行えるようコミュニケーションを図っていく。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			・支援中においても気づいた点を共有している。記録にこの詩、今後に生かせるようにしている。	・非常勤職員にも伝達、共有する。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		・日報を記録し、気づいた点を共有し、支援の検証改善に繋げている	・具体的な表現に留意する。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・入所から6か月毎にモニタリングを行い、計画の到達度を見極め、見直しの必要性を判断している。	・子どもの今が何によってそうなのかを職員の様々な視点を参考に行っていく。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	4		・ガイドラインの総則を読み返し、併せ持った活動支援を行っている	・総則を全職員の目に届く場所に掲示し、読み返しを促していく。		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	1	・児童発達支援管理責任者が参画、担当者会議の前には、職員会議において、その子どもの現況と支援についてまとめをしている	—		

関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		・下校時間など不確かな時は、必ず学校に電話をして確認を取っている。 ・下校時刻表や学校だより等必要に応じてコピーを取らせていただいている	・学校により予定ででている時刻が変更になることがある。そのような場合は電話にて引き渡しまでの確認をしっかりとる。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	1	・現在医療的ケアが必要な子どもはないが、受け入れる際は連絡体制を整えていく。	—
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5	1	・情報共有を行っている。	・サポート手帳なども活用していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5	1	・現在は該当する利用者がいないため行っていないが、今後そのような際は情報共有を行っていく	・サポート手帳の相談支援ファイルへ記入するなどの対応をする。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4		・医師、担当、相談支援員、保護者様と連携を図り助言を受け取っている	・研修までには至っていないので、今後はもう少し活発に行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	7	2		・親会社のユニオンスポーツクラブの子ども達と、サッカーやバスケットで交流することがある。 ・各地区の児童館や公園に行き、来ている子ども達と遊んでいる。	—
	㉗	（地域実利支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	5	・今のところ参加していない。	・今後は参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			・送迎時には今日の活動の様子を伝え、モニタリングを通して家庭でどんな様子かお聞きし、発達の状況や課題について共通理解を図っている。	—
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	2	・アドバイス等はしているが、改めては行っていない。	・厚生労働省の福祉推進事業として作成されている「実践ガイドブック」を熟読し活用していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		・契約時に丁寧な説明を心掛けている。不明なところがあれば随時説明している。	—
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談の適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			・送迎時や電話でも相談に応じている。またご希望に応じて事業所にお越しいただき相談を行っている。	—
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2		・今年度は保護者会を2回開催。保護者様同士の交流の機会が持てた。	・今のところ父母会は設けていないが今後のニーズに応じて横の繋がりが持てるような機会を作っていく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		・苦情受付担当者、苦情解決責任者を設け、対応体制を整えている。	—
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	4	・次年度よりスマートフォンのアプリケーションを同人氏イベントや遠足のお知らせ、定期的な会報等を発信する予定。	・紙ベースとデジタル区分を用途別に使い分けていく。
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			・鍵のかかる場所にしっかりと保管している。 ・職員全体が秘密保持誓約書を締結し、日々注意を払っている	—
	㊀	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	3		・わかりやすく、丁寧な伝達を心掛けている。	・可視化等、具体策も講じていく
非常時等の対応	㊁	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	3	・今のところ地域住民を招待するような行事は行っていないが、今後は開かれた事業運営を目指していく。	・どんな行事がふさわしいか検討する。
	㊂	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		・各マニュアルは策定し、職員間で周知している。ホームページにも掲載予定。	・ホームページの更新お含め保護者
	㊃	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				
	㊄	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1			
	㊅	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				
	㊆	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2			
	㊇	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2			